

平成31年度事業計画書

公益財団法人日中友好会館

平成31年3月1日

目次

| | 頁 |
|-----------------------------|----|
| 〔Ⅰ〕 公益目的事業 | |
| (公1) 青少年交流・教育交流事業　：総合交流部 | 3 |
| 1. 日中植林・植樹連帯事業 | 3 |
| 2. 対日理解促進交流プログラムJENESYS2018 | 6 |
| (公2) 寄宿舎施設の運営　　：留学生事業部 | 8 |
| (公3) 中国語及び日本語教育　：日中学院 | 9 |
| (公4) 文化事業　　：文化事業部 | 14 |
| 〔Ⅱ〕 収益事業：資産管理部 | 16 |
| 〔Ⅲ〕 会員相互扶助事業：日中友好後楽会 | 18 |
| 〔Ⅳ〕 法人会計部門 | 19 |
| (1) 総務・人事 | 19 |
| (2) 財務 | 19 |
| (3) 広報 | 19 |

〔I〕公益目的事業

（公1）青少年交流・教育交流事業： 総合交流部

1. 日中植林・植樹国際連帯事業

日本政府は、平成27年度補正予算により、日中植林・植樹国際連帯事業を実施することを決定。本事業は、日本へ飛来し得る黄砂等の中国の環境問題への対処、青少年等の交流を通じた環境意識の啓発と対日理解の一層の促進、砂漠化防止等への貢献を図ることで、中国との関係改善の流れを一層力強いものにするるとともに、国際社会の課題に対処することを通じて、「戦略的互惠関係」の強化につなげていくことを目的としている。

平成31年度は平成30年度実績（約1,700名）を超える招聘を計画しており、会館が主体となり、外務省と連携して、中国側調整機関や第三国・地域調整機関、地方公共団体を含む国内の関係団体等の協力を得ながら日中両国の青少年等の交流事業を実施予定。招聘人数は年間2,525名（中国2,075名、第三国・地域450名）を目標とする。訪日プログラムには、植樹、環境(防災を含む)の啓発プログラム、高校・大学訪問、企業視察等を組み込む。平成31年は「日中青少年交流推進年」であり、中国青少年の招聘では、「3つの架け橋」プロジェクト（①地方間交流、②青少年交流、③文化・スポーツ交流）を中心に、中国青少年の招聘2,075名を同年認定事業として実施予定（JENESYS2019 475名と併せて認定事業は全体で2,550名の計画）。なお、第三国・地域からの招聘は、企画競争により他団体に委託して実施。また、中国からの招聘事業の一部も同様に他団体に委託して実施予定。

【中国からの招聘事業】

| | 案件 | 中国側実施機関 | 人数 |
|---|-----------------|------------------|-------|
| 1 | 中国高校生短期招聘 ※ | 中国教育部 | 800 |
| 2 | 中国大学生短期招聘 ※ | 中日友好協会 | 600 |
| 3 | 中国青年短期招聘 ※ | 中華全国青年連合会 | 100 |
| 4 | 中国大学生短期招聘 ※ | 北京大学 | 100 |
| 5 | 中国青年短期招聘 | 中国宋慶齡基金会 | 100 |
| 6 | 中国青年短期招聘（戦略的招聘） | 在中国日本国大使館等の調整による | 375 |
| 計 | | | 2,075 |

※「3つの架け橋」プロジェクト（①地方間交流、②青少年交流、③文化・スポーツ交流）

① 中国高校生短期招聘事業（教育部）（前表No.1）

教育部派遣の中国高校生 800 名を招聘。滞在期間は 8 泊 9 日とし、招聘時期は調整中。日本の高校生との交流や環境・防災をテーマとする活動をメインプログラムとする。

中国側担当機関：中国教育部

受入実施：日中友好会館、一部他団体に委託予定。

委託団体は企画競争にて決定予定。

② 中国大学生短期招聘事業(中日友好協会)（前表No.2）

中国の大学生 600 名を招聘。滞在期間は 6 泊 7 日または 7 泊 8 日とし、招聘時期は調整中。日本の大学生との交流（文化・スポーツ交流を含む）や地方間交流、環境・防災関係施設への訪問・視察をメインプログラムとする。

中国側担当機関：中日友好協会

受入実施：日中友好会館、一部を他団体に委託予定。

委託団体は企画競争にて決定予定。

③ 中国青年短期招聘事業(中華全国青年連合会)（前表No.3）

中華全国青年連合会に所属する青年 100 名を招聘。滞在期間は 6 泊 7 日を目安とし、招聘時期は調整中。日本の青年との交流や、環境・防災関係施設への訪問・視察をメインプログラムとする。

中国側担当機関：中華全国青年連合会

受入実施：日中友好会館

④ 中国大学生短期招聘事業(北京大学)（前表No.4）

北京大学の学生 100 名を招聘。滞在期間は 6 泊 7 日を目安とし、日本の大学生との交流や環境・防災関係施設への訪問・視察をメインプログラムとする。

中国側担当機関：北京大学
派遣協力：在中国日本国大使館
受入実施：日中友好会館

⑤ 中国青年短期招聘（中国宋慶齡基金会）（前表No.5）

中国宋慶齡基金会に所属する青年 100 名を招聘。滞在期間は 6 泊 7 日を予定。招聘時期は調整中。公益事業に関する交流・視察、環境・防災関係施設への訪問・視察を行う。

中国側担当機関：中国宋慶齡基金会
受入実施：日中友好会館

⑥ 中国青年短期招聘（戦略的招聘）（前表No.6）

中国の公務員、経済関係者、各界の青年、学生等 375 名を約 10 回に分けて招聘。滞在期間は 4 泊 5 日～7 泊 8 日を目安とする。招聘時期は調整中。環境・防災関係施設への訪問・視察、団員の分野に応じた日本の青年との交流や関係施設への訪問・視察を行う。

中国側担当機関：事業ごとに調整
派遣協力機関：在中国日本国大使館等
受入実施：日中友好会館、一部を他団体に委託予定。
委託団体は企画競争にて決定予定。

2. 対日理解促進交流プログラム JENESYS2019

日本政府は平成 31 年度予算にて、対日理解促進交流プログラム JENESYS2019 を実施予定。会館は中国との間で JENESYS2019 を実施するため日本国政府から約 1 億 86 百万円の拠出を受ける。

平成 30 年度は、対日理解促進交流プログラム JENESYS2018 の拠出金(2 億 800 万円)及び前年度拠出された JENESYS2017 の拠出金の残額(1 億 3 千万円)をあわせて約 3 億 4 千万円で、約 840 名の招聘事業を実施。

平成 31 年度は、JENESYS2019 の事業予算（上記）及び JENESYS2018 の残額（約 7 百万円）とあわせて約 1 億 93 百万円を使用し、JENESYS2019 として年間 475 名の招聘事業を行うことを計画。本事業を通じ、対外発信力を有し将来を担う人材を招聘し、政治、経済、社会、文化、歴史、外交政策等に関する対日理解の促進を図るとともに、親日派・知日派を発掘し、日本の外交姿勢や魅力等について被招聘者自ら積極的に発信してもらうことで対外発信を強化し、日本の外交基盤を拡充することを目指す。平成 31 年は「日中青少年交流推進年」であり、JENESYS2019 の中国青少年の招聘 475 名は、全て同年認定事業として実施予定（日中植林・植樹国際連帯事業と併せて認定事業は全体で 2,550 名の計画）。

【中国からの招聘事業】

| | 案件 | 中国側実施機関 | 人数 |
|---|----------------------|----------|-----|
| 1 | 中国高校生短期招聘 | 教育部 | 110 |
| 2 | 香港・澳門高校生短期招聘 | 香港・澳門教育局 | 75 |
| 3 | 中国青年短期招聘（公務員・農村青年幹部） | 中日友好協会 | 60 |
| 4 | 第二十四回中国教育関係者代表団 | 中日友好協会 | 60 |
| 5 | 中国青年メディア関係者代表団 | 国務院新聞弁公室 | 120 |
| 6 | 中国社会科学院青年研究者代表団 | 中国社会科学院 | 50 |
| | | 計 | 475 |

何れの事業も、滞在中に、対日理解促進を目的とした日本の政治、経済、社会、歴史、文化、外交政策等の聴講、教育・研究機関、先端・伝統産業、文化遺産、地方自治体等の訪問・視察、訪問先での関係者等との意見交換や交流、ホームステイや伝統芸能などの体験をプログラムに組み込み、報告会や SNS 等を利用した日本の魅力等についての情報発信を促す。

① 中国高校生短期招聘事業（教育部、香港・澳門教育局）（前表No.1、2）

中国教育部派遣の中国高校生 110 名を 2 回に分けて招聘。

香港・澳門教育局派遣の香港・澳門高校生 75 名を招聘。

いずれも滞在期間は 8 泊 9 日で招聘。招聘時期は調整中。日本の高校生との交流やホームステイ、テーマに関するセミナー・視察等を行う。

中国側担当機関：中国教育部、香港特別行政区政府教育局、
澳門特別行政区政府教育・青年局

受入実施：日中友好会館

② 中国青年短期招聘事業(中日友好協会) (前表No.3)

中国の公務員・農村青年幹部 60 名を招聘。滞在期間は 4 泊 5 日で招聘。招聘時期は調整中。日本の同分野の青年との交流や関係施設への訪問・視察をメインプログラムとする。

中国側担当機関：中日友好協会

受入実施：日中友好会館

③ 第二十四回中国教育関係者代表団(中日友好協会) (前表No.4)

中日友好協会と会館との間で長年続く事業。中国の教育関係者 60 名を招聘。滞在期間は 4 泊 5 日。招聘時期は調整中。日本の教育現場の視察及び教育関係者(小学校から高校、教育委員会等)との交流をメインプログラムとする。

中国側担当機関：中日友好協会

受入機関：日中友好会館

④ 中国青年メディア関係者代表団(中国国務院新聞弁公室) (前表No.5)

中央、地方の若手メディア関係者、メディア行政担当者 120 名を 2 回に分けて招聘。滞在期間は 7 泊 8 日を予定。招聘時期・テーマは調整中。日本のメディアとの交流のほか、テーマに関する視察・交流、自由取材を行う。

中国側担当機関：中国国務院新聞弁公室

受入実施：日中友好会館

⑤ 中国社会科学院青年研究者代表団(中国社会科学院) (前表No.6)

中国社会科学院に所属する若手研究者 50 名を 2 回に分けて招聘。滞在期間は 7 泊 8 日を予定。招聘時期・テーマは調整中。日本の研究者との交流やテーマに沿った交流・視察を行う。

中国側担当機関：中国社会科学院

受入実施：日中友好会館

(公2) 寄宿舍施設の運営： 留学生事業部

会館には留学生・研究員の受入事業用施設として「後楽寮」と「後楽寮研修棟」があります。「後楽寮」には203室、「後楽寮研修棟」(後楽賓館の2階・3階)には34室の個室があります。本年度、後楽寮は1985年の開設以来34年経ちますが、良好な居住環境の維持管理に努めながら円滑な運営を図る。

(1) 入居率の継続と維持

平成30年度の年間入居率は80%となりました。本年度も入退寮の調整を円滑に進め安定的な入居率が維持継続できるよう努力する。

(2) 寮生委員会(寮生代表による自治組織)への協力

第44期寮生委員会が選出され、1年間(2018.12月～2019年.11月)の活動を開始。本年度も数多くの委員会活動や各種行事および交流会が行われますので、留学生事業部としても全ての活動に最大限の協力を行う。又、春節や国慶節等行事など対外交流活動で好評を得ている「後楽寮芸術団」は結成8年を迎えます。芸術団の活動についても寮生委員会活動とともに支援、協力する。

(3) 後楽寮生主体の交流会の実施

毎年後楽寮生は、行政機関や日中関係の各団体が主催する交流会等に招待されているが、本年は、「日中青少年交流推進年」でもあることから、毎年行われている「日中学生会議」の実行委員等との連携や東大・早稲田など、寮近辺の大学へ交流の働きかけを行い、寮生が主体となって日本人大学生などの同年代との交流が実現できるように努力と働き掛けを行う。

(4) 留学生の生活環境改善

寮生委員会と留学生事業部の間で行っている毎月の定例協議会を継続し、寮生の意見や希望を確認しながら予算範囲の中で備品の更新や環境改善を進める。また後楽寮施設の維持に必要な設備更新や改修工事も継続して行う。

(5) 後楽会(中国)の発展

後楽寮生OB組織である「後楽会(中国)友好联谊会」は設立7周年を迎える。本年度は東京分会の掌握と再構築を進め、「後楽会(中国)友好联谊会」の更なる発展と運営のために協力する。

(6) 後楽寮設立35周年の祝賀イベント準備

後楽寮は明年2020年で設立35周年となります。本年度より開催時期や内容など具体的な準備を進める。

(公3) 中国語及び日本語教育： 日中学院

本科は学生確保が依然として厳しい状況が続いていますが、ホームページの改善、高校、大学、短大への広報宣伝などを強化し、入学者数増加に努めます。中国人民大学への夏季短期留学を継続実施します。

別科はHSK対策講座を充実させます。語学以外の文化講座を増設します。天津外国語大学での短期研修を継続実施します。

日本語科は平成29年度から実施した新コース（10月入学）が定着し、学生数も増加しました。講師体制も強化し、教育水準を維持向上させます。

中国理解のための講演会、公開講座、図書の実践、広報に努め、日中の相互理解の増進に寄与します。

専門課程

1. 中国語本科（専門課程, 2年制）、中国語本科研究科（専門課程, 1年制）

- ・現在、卒業生の一部が卒業後の進路として、大学2・3年への編入を選択しています。
- ・学生確保のために学生募集（営業）の範囲を短大、大学に広げ学生募集活動に注力します。
- ・学生のレベル向上のために、中国語検定、HSKを活用し、レベル測定を行います。
- ・本科の一部の授業を他講座学生に対しオープン授業とします。
- ・教育基金を利用し、学生のスキルアップへの援助を実施します。
- ・勤労学生への学費減免措置等を継続実施します。

(1) 学生数

| 学則 | | 平成31年度予想 | | 平成30年度実績 | | 平成29年度実績 | |
|------|-----|----------|-----|----------|----|----------|----|
| クラス | 定員 | クラス | 予想数 | クラス | 実績 | クラス | 実績 |
| 1年：2 | 40 | 1 | 18 | 1 | 20 | 1 | 23 |
| 2年：2 | 40 | 1 | 16 | 1 | 14 | 1 | 12 |
| 研究：1 | 20 | 1 | 3 | 1 | 2 | 1 | 6 |
| 合計 | 100 | 3 | 37 | 3 | 36 | 3 | 41 |

(2) 諸活動

- ① 入学式 4月5日 本科・日本語科合同入学式
- ② 都内見学 4月26日 日本語科生との交流を通して相互理解を促進
- ③ 合宿 5月21、22日 本科・日本語科合同合宿
- ④ 進路懇談会 1回予定 業界代表の講演、卒業生との懇談会

- ⑤ 進路相談面接 2回予定 卒業予定者を中心に個人面接方式による進路指導
- ⑥ ディズニーランド 6月 本科、日本語科合同により親睦を深め相互理解を促進
- ⑦ 朗読大会 7月 1年生を対象に発音学習と第1学期の総まとめ会
- ⑧ 本科公開講座 計3回 8月、11月、1月に本科入学希望者のために実施
- ⑨ 定期試験 各学期に期末試験を実施、1年生は中間試験も実施
- ⑩ 短期研修 6月24日～7月29日 2年生が中国人民大学において5週間の中国語研修に参加
- ⑪ 文化祭 10月26日 本科、日本語科を中心に学習成果を発表
- ⑫ 補習 1月 1年生の成績不良の学生に対して実施
- ⑬ 合同弁論大会 2月 本科、日本語科合同により学習成果を発表し相互理解を促進
- ⑭ 卒業式 3月 本科、日本語科合同卒業式
- ⑮ 入学試験 年間5回実施

2. 日本語科（専門課程, 2年制、1.5年生）

エージェント等との協定等による学生募集も軌道に乗り始めました。それに伴い募集等に必要経費負担の割合が多くなります。平成29年10月以降、新コース10月クラスが開講しました。新クラスの増設が留学生への日本語教育に一層貢献できると考えます。

(1) 学生数

()内はクラス数 ※募集無し

| | 定員 | 平成31年度 予想 | 平成30年 度実績 | 平成29年 度実績 |
|----------|--------|--------------|--------------|--------------|
| 1年 | 40 (2) | 15 (1) | 22 (2) | 32 (2) |
| 2年 | 40 (2) | 17 (1) | 22 (1) | 15 (1) |
| 10月 A | 20 (1) | 19 (1) | 17 (1) | 18(1) |
| 10月 B | 20 (1) | 20 (1) | 20 (1) | ※ |
| 合計 | 定員 | 71 (4) | 81 (5) | 65 (4) |

(2) 諸活動

- ① 入学式 4月5日 本科・日本語科合同入学式
- ② 新入生歓迎会 4月 上級生による新入生歓迎

| | | |
|------------|----------|-----------------------|
| ③ 都内見学 | 4月26日 | 本科2年、研究科と合同 |
| ④ 合宿 | 5月21、22日 | 本科・日本語科合同合宿 |
| ⑤ 健康診断 | 5月 | 来日後の健康状況調査及び進学準備 |
| ⑥ 昼食会 | 6月 | 別科生との交流 |
| ⑦ ディズニーランド | 6月 | 本科1年生との合同 |
| ⑧ 進学説明会 | 6月 | 先輩を招き経験を聞く。 |
| ⑨ 定期試験 | 計3回 | 7月、11月、12月に実施 |
| ⑩ 個人面接 | 計3回 | 担任講師が進路、生活、学習について面談 |
| ⑪ ホームステイ | 7月 | 日本人宅への宿泊：日本への理解を深める。 |
| ⑫ 10月生入学式 | 10月1日 | 10月入学生を迎える |
| ⑬ 文化祭 | 10月26日 | 学習成果を発表 |
| ⑭ バスハイキング | 11月 | 校友会会員と共に 箱根または鎌倉のバス旅行 |
| ⑮ 国会見学 | 1月 | 2年生対象 |
| ⑯ 合同弁論大会 | 2月 | 本科、日本語科合同による学習成果発表 |
| ⑰ 卒業式 | 3月 | 本科、日本語科合同卒業式 |

付帯教育

常時約80の講座が開設され、600名近い受講生が学んでいます。

(1) 4月期のクラス構成

| | 基礎課程 | | | 応用課程 | | | | 研究課程 | | | | | |
|----|------|----|----|------|----|----|----|------|----|----|-----|----|----|
| | 週1 | 週2 | 週3 | 総合 | 会話 | 作文 | 聴解 | 総合 | 会話 | 作文 | HSK | 講読 | 通訳 |
| 早朝 | 1 | 5 | | | | | | | 3 | | | | |
| 午前 | | 4 | | 2 | 1 | | | | 2 | 1 | | | |
| 午後 | | | | 2 | 2 | | 3 | | 3 | | 1 | 2 | 1 |
| 夜間 | 6 | 4 | 1 | 3 | 1 | | 1 | | 3 | 1 | 1 | | 1 |
| 土曜 | 12 | | | 2 | 2 | | | | 5 | | | 1 | |

上記に含まれない講座

- ① 特別講座
- ② 春・夏集中講座、一日集中講座
- ③ 作文添削通信講座
- ④ 委託講座

(2) 諸活動

- ① 開講式 4月、10月
- ② 修了式 9月、3月
- ③ 1日学習会

- ④ 朗読大会 10月30日
- ⑤ 公開講座 16回
- ⑥ 留学生との交流会
- ⑦ 短期留学 天津外大で9月を予定
- ⑧ その他

教職員運営会議・各委員会活動

教職員運営会議:教職員による運営会議及び専任専従会議を毎月1回開催し、各委員会、教職員からの提案、活動報告について検討を加え、決議する。

各委員会活動:55委員会に分かれ活動を行う。主なものは以下の通り。

(1) 教学委員会

専任講師により構成される。月1回の会議を経て教学関係の活動を管理、実施。

平成31年度の主な活動項目は次の通り。

- ① 講師の教育レベル向上を目的とした研究会の開催
- ② 各講座コースデザインの研究。特に別科において4月から基礎過程の教科書「学漢語」の全面改訂作業に入る。
- ③ IT利用の受講生サポート教育の研究
- ④ 全国高等学校中国語教育研究会への協力
- ⑤ 年間5回程度の講演会開催を予定する
- ⑥ オリンピックボランティア養成研修会の開催
- ⑦ その他

(2) 学務(事務局)

日常の業務処理を円滑に行うため、事務局会議を毎週1回開催。
平成31年度は、以下の事項について重点的に取り組む予定。

- ① 受講生受付業務向上の充実
- ② 通信教育、委託講座の運営
- ③ 奨学金の充実、活用
- ④ 消費税率変動に対応する学費の適正化についての研究
- ⑤ 人件費適正化の研究
- ⑥ 学院報の発行
- ⑦ 図書館業務の充実
- ⑧ 全国専修学校振興協会、東専各会員としての活動

- ⑨ 日本語教育振興協会会員としての活動
- ⑩ 全国専門学校、各種学校日本語教育協会会員としての活動
- ⑪ 講座案内の充実
- ⑫ 後楽寮との交流
- ⑬ その他

(3) 広報宣伝委員会 平成 31 年度は以下の活動を実施する予定。

- ① 進学ガイド誌への掲載
- ② 講座案内の充実
- ③ 全国の高校あてに案内書送付
- ④ HP の更新
- ⑤ 他団体の HP とのリンクを拡大する
- ⑥ 駅看板広告
- ⑦ 高等学校の中国語担当教師への案内送付
- ⑧ 中国語学会会員への学院報、講座案内の送付
- ⑨ 日本語科学生募集のため中国国内の留学生仲介機関との交流
- ⑩ その他

(4) 校友会活動 平成 30 年度は以下の活動を実施する予定。

- ① 講演会
- ② 留学生とのバスハイク
- ③ 中国旅行 (3 月)
- ④ 総会 (6 月)
- ⑤ 教育研究所活動
- ⑥ その他

(公4) 文化事業： 文化事業部

平成31年度は、主催催事4本（主催展3件及び主催公演1件）を実施。又、主催展以外の期間には他団体へ美術館を貸出すことにより、多くの展示を通じて優れた文化の紹介に努める。

(1) 主催展「金山農民画展 中国のレトロ&ポップ」

中国では、農村に暮らす人びとが自分たちの日常生活を題材に描いた絵画のことを農民画と呼びます。

農民画は、1950年代から70年代にかけてプロパガンダアートとして生まれましたが、そのルーツは刺繍、切り絵、かまどの装飾などの伝統技法にあります。単純で平面的な構図とあざやかな色彩が特徴の農民画の最大の魅力は、何百万円もする高価な絵画や難解な画にはない、ほのぼのと思わず癒されてしまう「自然体の美」です。

陝西省戸県、山東省日照市、上海市金山区が三大農民画地区と呼ばれており、本展では上海金山地区の農民画を展示します。

主催：公益財団法人日中友好会館、金山区人民政府、解放日報社

協力：株式会社四季彩社

会期：平成31年6月5日（水）～6月26日（水）

会場：日中友好会館美術館

(2) 主催催事「第29回中国文化之日」

平成31年度の「中国文化之日」も以下のとおり公演と展示を行います。

今回は、雲南省西南部にある西双版纳傣族自治州より展示品および公演団を招聘し催事を行う。

(2) - 1 主催展「雲南省シーサンパンナ少数民族衣食住展（仮称）」

タイ族、ハニ族、ラフ族など中心として雲南省西南部に住む少数民族の衣装や民族楽器、工芸品を紹介。特徴的な住居の模型も展示し、実際に雲南省を訪れたかのような感覚を楽しめるような会場づくりを検討しています。

主催：（公財）日中友好会館、西双版纳傣族自治州文体広電局

会期：平成31年9月27日（金）～10月20日（日）

会場：日中友好会館美術館

(2) - 2 主催公演「雲南省シーサンパンナ少数民族歌舞公演（仮称）」

タイ族の代表的な民族舞踊である孔雀舞をはじめ、躍動感あふれる雲南省西南部の少数民族の歌舞を紹介いたします。また、会期に合わせて中国物産展も開催

します。

主催：(公財) 日中友好会館、西双版纳傣族自治州文体広電局

出演：西双版纳傣族自治州歌舞団

会期：平成 31 年 10 月 18 日 (金) ～20 (日)

会場：日中友好会館地下 1 階大ホール

(3) 主催展

内容未定。 新部長が着任次第、検討及び調整し決定

現時点での候補：上海工芸美術博物館の中国刺繍、華翠文化センターの水彩画など

主催：(公財) 日中友好会館

会期：平成 32 年 1 月 16 日 (木) ～2 月 9 日 (日) *仮日程

会場：日中友好会館美術館

〔Ⅱ〕収益事業： 資産管理部

(1) ビル賃貸業務

平成 30 年 12 月 28 日にテナント「アイリスオーヤマ (株)」が一部を残して退去となったが、平成 31 年 2 月 9 日付で新テナント「(株) FP パートナー」が入居、現在空室となっているのは倉庫 2 ヶ所 (307・B302 室) のみ。

また「(株) FP パートナー」は前テナントより高い賃料で成約できたため、平成 31 年度のオフィス賃貸料収入は、フリーレント期間(2 月～4 月)があるものの、平成 30 年度実績見込 601 百万円と比較して約 30 百万円増 631 百万円を見込む。

| 名称 | 部屋番号 | 面積 | 用途 | 異動 |
|----------|------|--------|-------|---------|
| アイリスオーヤマ | 501 | 922.11 | 一般事務室 | 退去 |
| | 505 | 28.84 | 小事務室 | 退去 |
| | 507 | 7.86 | 倉庫 | 退去 |
| | 307 | 7.86 | 倉庫 | 退去。現在空室 |
| | B302 | 35.06 | 倉庫 | 退去。現在空室 |
| | 802b | 342.37 | 一般事務室 | 残留 |
| | 807 | 14.44 | 倉庫 | 残留 |
| | 1206 | 17.13 | 倉庫 | 残留 |
| FP パートナー | 501 | 922.11 | 一般事務室 | 入居 |
| | 505 | 28.84 | 小事務室 | 入居 |
| | 507 | 7.86 | 倉庫 | 入居 |

(2) ホテル宿泊施設 (後楽ガーデンホテル)

平成 31 年度は客室稼働率を 80%、ホテル室料収益を 363 百万円と見込んでおり、平成 30 年度実績予測と比較して約 1.5 百万円の増収を目標。

中国人旅行者は団体から個人に旅行形態が移行したため、宿泊者数自体は減少気味であるが、一方、海外系ホテル予約サイトへ参画したことにより中国人以外の外国人宿泊客が増加の傾向となり、売上に貢献している。

但し、周辺に競合ホテルが開業し、経営環境は依然として厳しい状況が続くと予測される。平成 31 年度は未改修の 8 階の内装工事を実施し、部屋単価の向上を図るとともに、新規エージェントとの契約や宿泊予約サイトへの参画等、集客に結びつく各種の施策を講じ、売上の更なる増加を目指す。

(3) 設備更新

平成 31 年度に実施する予定のホテル棟及びオフィス棟の設備更新・改修、修繕工事の主な工事は次の通り。

宿泊客の居住性及びテナントの利便性向上に繋がる工事を実施し、収益の向上を図

る。

① **ホテル 8 階 (18 室) 改修工事** (予算 4,200 万円、施工予定 5~6 月)

客室 18 部屋 (シングル 16 室、ツイン 2 室) と共用部の改修を行います。2013 年から毎年継続して来たフロア改修が、これで一段落する事となる。

② **ホテル 8 階ユニバーサルルーム化工事** (予算 1,500 万円、施工予定 8~9 月)

東京都観光財団からの補助金 900 万円を利用し、シングル 2 部屋をより高稼働が見込まれるユニバーサルツイン 1 部屋に改修し、収益力の向上を図る。

※ ユニバーサルルームとは、身障者や高齢者等も含め、誰に対しても設備的な不便性を感じさせないようにデザインされた部屋。

③ **ホテル 11 階スイートルーム・ユニバーサル化改修工事** (予算 2,500 万円、施工予定 8~9 月)

東京都観光財団からの補助金 1,500 万円を利用し、スイートルームをユニバーサルルームに改修。

④ **日立製昇降機 (3・4&5 号機) UPS 制御盤新設工事** (予算 1,000 万円、施工予定 9 月)

本館事務棟の 3 機の昇降機に UPS (非常用のバッテリー) を設置、非常時に最寄り階若しくは避難階に着床させる機能を追加。平成 31 年度に更新に着手する予定の非常用発電機「項目⑥」の必要容量を軽減させる目的もある。

⑤ **受変電設備及び電灯盤更新工事** (予算 4,367 万円、施工予定 4 月)

設置から 30 年を経過した本館の電気設備を更新。6 年計画の 1 年目。4 月の全館停電時に施工予定。

⑥ **発電機設備更新工事** (予算 2,000 万円、施工予定 4 月)

本館地下 4 階に設置してある非常用発電機の更新工事に着手。設置から 30 年を経過しており、2 年計画の 1 年目。

⑦ **中央監視設備更新** (予算 2,000 万円、施工予定 9 月)

1 階管理センター内に設置している、電気・熱源・空調・ポンプ類等の設備を一元管理するための設備。平成 20 年に設置。

〔Ⅲ〕 会員相互扶助事業： 日中友好後楽会

賛助会員組織「日中友好後楽会」は、会館の施設を活用し中国人留学生と直接交流を通じ相互理解を深め日中双方の親睦を深めることを目的として1989年7月に創立(当初会員は90名)。

(1) 会員数

平成31年2月現在の後楽会の会員数は69名(内法人会員2社)。個人会員は新規の加入もありましたが退会もあり、会員総数は前年度と同数でした。近年は会員の高齢化による会員数減少が進んでおり、宣伝告知を引き続き強化し、入会希望者は随時受け入れる方針。

(2) 活動状況と計画

平成31年度も従来どおり月例「談話会」・「会員集会」で後楽寮寮生による専門分野の講演会並びに交流食事会を開催。なるべく多くの方に興味を持ってもらえるよう、各月の講演テーマを文化、経済、政治、芸術など、多岐にわたる分野から選定し、バラエティーに富んだ講演にしていく方針。

恒例の小石川後楽園内涵徳亭での「観桜会」、「会員総会」は平成30年度より涵徳亭改装により使用できないため、別の会場を検討中。ほかに、関東周辺への春秋日帰りバス旅行も例年通り実施予定。会員限定の気功教室・中国画教室も引き続き月2回のペースで、中国旅行は7月に7日間前後で実施する予定。

平成31年度も活動の形態や時間帯などの会員の希望を柔軟に取り入れ、参加者の増加に努めてまいります。

[IV] 法人会計部門

(1) 総務・人事

- ① 健全且つ円滑な会館運営を図るべく、事業部に対する牽制と支援を積極的に行う。
又、経営と一体となり、ガバナンスの強化を図る。
- ② 事業規模に適した人員を適材適所に配置し、最大の成果を生み出すよう心掛ける。
- ③ 業務効率を一層促進し、時間外勤務の減少を図ります。
- ④ 女性職員が安心して出産・育児を行い、スムーズな職場復帰が出来る様配慮する等、職員の生活設計に配慮した勤務環境を整えます。
- ⑤ 実務を通じた業務指導を徹底し、人材育成を強化します。又、より公正な人事評価を実施することで、職員のモチベーションを高めます。

(2) 財務

- ① 予算と実績の経費管理に基づく財政状態の適時把握を行います。
- ② 会館全体の経費削減に努めます。
- ③ 迅速的確な経理処理による、総務財務部の効率運営を促進します。

(3) 広報

組織横断型広報チームを中心に、広報活動を強化し、会館の公益性や諸活動の認知度を高めることに注力します。

- ① 会館ホームページを充実させ、随時更新して参ります。
- ② 会館の広報誌として毎月発行している「会館だより」については、年間の各事業の事前広報及び事後の活動報告を掲載、特に重点事業の活動報告については誌面を工夫した特集ページを組むなど、内容の一層の充実を図ります。昨年同様に会館ホームページにも掲載します。
- ③ 毎月発行している会館メールマガジンは、「会館だより」掲載内容のほか、主に文化事業部の主催展ほか個別の宣伝・告知に関する発行も増やすように努めます。
- ④ 従来同様、活動の総括として「日中友好会館年報」を作成します。本年度も早期に完成させ、各関係先に配布致します。
- ⑤ 会館パンフレットは在庫の使用終了にあわせて、内容を更新し、増刷します。
会館の各事業の特性に合わせて、関係先や日中のメディアとの接点を増やし、社会へのアピールを強化します。

以上